

2021年4月23日

〈学長メッセージ〉

## 学生の皆さんへ：緊急事態宣言の再発令に直面して

学長 田中 悟

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、4月25日から5月11日の期間、兵庫県を含む4都府県を対象に、緊急事態宣言が発令される見込みとなりました。本学においても、緊急事態宣言期間中は、大学における対面による活動をほぼ停止いたします。つい先日、新入生をお迎えし、久しぶりに大学らしい活動が開始させていただきに、対面による活動を停止することは断腸の思いではありますが、現在の新型コロナウイルス感染症の流行状況に鑑み、何卒ご理解下さいますようお願いいたします。

度重なる緊急事態宣言の発令となり、皆さんの中には様々な活動の停止に抵抗を感じる方や「自粛疲れ」のために様々な活動に「やる気」を失いかけている方がおられるかもしれません。しかし、今回の新型コロナウイルス感染症の流行の波は、変異株によってもたらされており、若い方々の重症化リスクも増大していると報道されています。今一度、自らの生活を振り返り、ご自身やご家族・友人の健康に思いをはせて下さい。

対面による活動の停止は、長い出口のないトンネルのように感じるかもしれません。様々な活動を行おうと計画していた方々には、計画の延期や中止を余儀なくされ、挫折感を感じているでしょう。アルバイトが休止状態に追い込まれ、経済的な苦境に陥ってしまう方々もおられるかもしれません。緊急事態宣言下での皆さんの苦境は、並大抵のものではないでしょう。

しかし、考えようによっては、緊急事態宣言下の期間は、皆さんにとって様々なことをじっくり考えるチャンスになるかもしれません。今までより深く、自身の勉学や課外活動について考え、自身の成長に活かしていくことは有益なこととなるでしょう。また、対面による活動の停止を通じて、対面によるコミュニケーションの意味を深く考えることも有意義なことかもしれません。感染症の流行には波があり、その流行がいつかは必ず収束することは、歴史が教えているとおりです。大きな波が収まったときに、ピンチをチャンスに変えた皆さんが、一層大きな人間となって大学に登校してくれることを期待しています。

対面での活動はほぼ停止いたしますが、大学自体は休業せずに活動を続けています。緊急事態宣言期間中には、様々な悩みや相談事が出てくるかもしれません。そうしたときには、是非、大学の相談窓口の利用をお考え下さい。皆さんお一人お一人に寄り添い、できるだけのサポートを行いたいと考えています。